

お互いさまのまちづくり
アニュアルレポート
2022

年次事業報告書

豊橋市お互いさまのまちづくり協議会



お互いさまのまちづくりアニュアルレポート2022について

このレポートは、「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン～支え合い活動55団体創出に向けて～」に関し、お互いさまのまちづくり協議会を構成する関係団体等の令和4年度の実行状況を整理し、その評価等を行ったものです。協議会で情報共有をし、コレクティブインパクト（立場を超えて互いの強みを出し合うこと）実現のための基礎資料とするとともに、関係団体等におけるアクションプランの理解促進のための資料とします。

I 支え合い活動の状況

1 今年度立ち上がった活動

令和4年度は新たに10箇所の支え合い活動が誕生した。

No.	名称	校区	場所	備考
1	寄り合い	西郷	平野町公民館など	・さわらび地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
2	笑ら輪まい会	多米	多米校区市民館など	・地域包括支援センター赤岩荘の立ち上げ支援により発足。
3	前芝元気クラブ	前芝	前芝校区市民館	・地域包括支援センター喜寿苑の立ち上げ支援により発足。
4	下地元気クラブ	下地	下地老人福祉センター	・地域包括支援センター喜寿苑の立ち上げ支援により発足。
5	カリオン広場	松山	カリオンビル	・地域包括支援センターコープ豊橋中央の立ち上げ支援により発足。
6	ほのぼのサロン	大清水	ほのぼのデイサービス	・豊橋市南部地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。

No.	名称	校区	場所	備考
7	おいでん	植田	植田住宅集会場	・豊橋市南部地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
8	草間町助け合いの会	磯辺	草間町内	・豊橋市南部地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
9	なのはな会	野依	野依校区市民館	・福祉村地域包括支援センターの立ち上げ支援により発足。
10	本郷お互いさまの会	本郷	本郷地区市民館など	・生活支援コーディネーターの立ち上げ支援により発足。

2 校区別の活動箇所数（協議会把握分）

お互いさまのまちづくり協議会が把握しているまちの居場所活動、助け合い活動などの支え合い活動は127団体（箇所）である。

校区名	支え合い		校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)	
	活動合計	居場所				助け合い
岩田	8	7	1	15,873	4,126	26.0%
豊	1	1	0	7,257	2,107	29.0%
東田	7	7	0	8,558	2,599	30.4%
八町	10	10	0	3,368	1,077	32.0%
松葉	1	1	0	6,754	1,924	28.5%
花田	3	3	0	7,382	2,115	28.7%
松山	3	3	0	6,501	2,022	31.1%
新川	6	5	1	5,543	1,690	30.5%
羽根井	3	3	0	8,806	2,349	26.7%
下地	2	2	0	6,375	1,640	25.7%
大村	2	2	0	3,411	964	28.3%
津田	2	2	0	3,743	1,030	27.5%
牟呂	3	3	0	13,756	2,954	21.5%
汐田	1	1	0	8,285	1,531	18.5%
吉田方	4	4	0	17,350	3,485	20.1%
高師	3	2	1	12,817	3,509	27.4%
幸	1	1	0	16,416	4,293	26.2%
芦原	3	3	0	7,662	1,959	25.6%
福岡	1	1	0	13,075	3,270	25.0%
中野	1	1	0	8,003	1,990	24.9%
磯辺	3	2	1	10,630	2,571	24.2%
大崎	3	3	0	3,378	899	26.6%
野依	3	3	0	6,390	1,428	22.3%
植田	5	5	0	4,891	1,557	31.8%
牛川	3	2	1	9,301	2,217	23.8%
鷹丘	4	3	1	13,594	3,612	26.6%
下条	0	0	0	1,448	502	34.7%
多米	3	3	0	11,627	2,862	24.6%
岩西	1	1	0	9,214	2,350	25.5%
飯村	0	0	0	12,485	2,945	23.6%

校区名	支え合い			校区人口 (A)	65歳以上 人口 (B)	65歳以上 割合 (B/A)
	活動合計	居場所	助け合い			
つつじが丘	4	4	0	9,768	2,159	22.1%
旭	4	4	0	3,693	1,233	33.4%
栄	4	4	0	14,218	3,909	27.5%
天伯	2	1	1	5,152	1,338	26.0%
大清水	4	3	1	6,007	1,522	25.3%
富士見	2	2	0	6,387	2,069	32.4%
向山	3	3	0	6,948	2,189	31.5%
前芝	6	6	0	4,090	1,030	25.2%
西郷	0	0	0	2,152	763	35.5%
玉川	1	1	0	5,167	1,583	30.6%
嵩山	1	1	0	1,327	503	37.9%
石巻	1	1	0	2,673	883	33.0%
谷川	0	0	0	1,981	544	27.5%
小沢	1	1	0	2,214	719	32.5%
細谷	0	0	0	2,441	781	32.0%
二川	3	3	0	8,228	2,345	28.5%
二川南	0	0	0	9,764	2,312	23.7%
豊南	0	0	0	2,323	723	31.1%
高根	0	0	0	2,457	547	22.3%
老津	1	1	0	3,414	1,140	33.4%
杉山	0	0	0	4,141	931	22.5%
賀茂	0	0	0	1,270	436	34.3%
不明	0	0	0	17	2	-
計	127	119	8	369,725	97,238	26.3%

※人口は令和5年4月1日現在

Ⅱ アクションプラン取組状況

1 認知度向上プラン

(1) 老人クラブ連合会事業実施方針、重点目標への位置づけ（老人クラブ連合会）

内容等：令和4年度の重点目標に「支え合い活動の推進」を掲げ、昨年度に引き続き「お互いさまのまちづくり」について老人クラブ会員への周知を図った。

(2) SNSを活用した企画情報の発信（社会福祉協議会）

内容等：SNS（LINE）を活用した企画情報の発信を行うことで、お互いさまのまちづくりにつながる情報をより広く周知した。

(3) 広域的地域ケア会議の開催（基幹型地域包括支援センター）

内容等：中央、東部、南部の3つの圏域ごとに、各包括支援センターが集まり、地域の課題を共有する「広域的地域ケア会議」を開催した。会議において、圏域内の支え合い活動の状況を集約し、お互いさまのまちづくりの現状把握を行った。

(4) 豊橋創造大学において特別講義を実施（活動者、市）

日 時：令和4年6月6日

内容等：豊橋創造大学保健医療学部看護学科の学生を対象に、「公衆衛生看護学概論」の授業の一環として特別講義を実施した。支え合い活動者及び市職員が講師となり、「お互いさまのまちづくり」について、周知を図った。



(5) 「とよはし健康マガジン」への掲載（9月号）（市）

内容等：豊橋市が発行する健康情報を掲載する電子マガジンに「お互いさまのまちづくりの推進」について掲載し、市内企業への周知を図った。

2 担い手創出プラン

(1) レクリエーションリーダー講座（社会福祉協議会）

開催日・場所：前期 令和4年5月～、後期 令和4年11月～（全6回）あイトピア

参加者：前後期合せて5人

内容等：高齢者を対象としたレクリエーション活動の理論と実技を学ぶ機会を設けた。

(2) 楽しくなかまづくり縁ジョイ講座（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和4年11月4日～12月2日（全5回）あイトピア

参加者：15人

内容等：料理、レクリエーション、健康、フレイル予防、ボランティア事例紹介など

(3) ボランティアはじめの一步セミナー（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和5年3月4日 あイトピア

参加者：19人

内容等：ボランティア団体の紹介や活動者との面談

(4) 福祉レクリエーションボランティアセミナー（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和4年9月～（全6回）あイトピア

参加者：1人

内容等：講義や実技でレクリエーションを学ぶ

(5) 市内の公園等で一斉清掃ボランティア活動を実施（シルバー人材センター）

開催日・場所：令和4年10月1日 豊橋公園他（市内8か所の公園）

参加者：203名

内容等：市内52校区に設置してある地域班を8ブロックに分け、公園や周辺道路でゴミ拾いを実施。会員同士顔の見える関係づくりを通して、つながりの強化や支え合い活動への意識の醸成を図った。

(6) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和4年9月15日 青陵地区市民館

内容等：「生活支援コーディネーターについて」についての講義を実施した。

(7) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和4年12月1日 生協会館

内容等：「認知症の方と地域で暮らす」についての講義を実施した。

(8) 生活・介護支援サポーター養成講座（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和4年12月15日 生協会館

内容等：「多世代交流としての子ども食堂について」についての講義を実施した。

(9) 東三河生活支援コーディネーター連絡会（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和4年11月21日 豊川市役所

参加者：東三河8市町村・西尾市・幸田町の行政職員及び生活支援コーディネーター

内容等：豊田市職員による講演会「豊田市における生活支援体制整備事業の取り組みについて」が行われた。また、参加市町村による情報交換や事例発表を行った。

(10) 多世代交流検討会（市・協議会委員等）

開催日・場所：令和4年10月31日 豊橋市役所

参加者：市内3大学の学生6名・市職員・協議会委員等

内容等：市内3大学の学生を招へいし、高齢者福祉の最前線で活躍される方々と多世代交流について議論を深めた。「若者の力」に着目した取り組みである。

(11) スキル向上及び知識習得のための会議・研修への参加

○生活支援コーディネーター

会議・研修名	会議・研修開催日
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	7/14
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/21
子どもの居場所づくりネットワーク会議	5/30
「下条を考える会」参加	4/16, 5/28, 7/2, 8/20 9/17, 11/19, 1/21

○活動者

会議・研修名	会議・研修開催日
子どもの居場所づくりネットワーク会議	5/30
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/21
「下条を考える会」参加	4/16, 5/28, 7/2, 8/20 9/17, 11/19, 1/21

○市

会議・研修名	会議・研修開催日
愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	7/14
東三河生活支援コーディネーター連絡会	11/21
愛知県生活支援体制整備推進に係る助言者による講演	12/8

3 活動応援プラン

(1) 「コロナ禍における支え合い活動団体 活動継続の手引き」の配布（市）

内容等：加入団体に手引きを送付し、活動内容別の感染対策の方法や、直接的な対面をせずに他者と繋がる方法・事例の紹介を行った。

(2) ボランティア活動保険の紹介（社会福祉協議会）

内容等：ボランティア活動中の万一の事故に備える「ボランティア活動保険」を引き続き運用し、周知を図った。

(3) 支え合い活動参加者保険の紹介（市）

内容等：支え合い活動が取り組みやすい環境整備を目的とした、活動中の参加者の事故を補償する「支え合い活動参加者保険」を引き続き実施し、アクティブシニア情報紙や市ホームページに掲載することで周知を図った。

(4) サロン活動への支援（老人クラブ連合会）

対象者：サロン活動団体 18団体

内容等：サロン活動を普及拡大するため、老人クラブ連合会としてサロン活動をする老人クラブに対して助成金を交付した。

(5) 地域包括支援センターによる立ち上げ支援

地域包括支援センター	内容
さわらび	・「寄り合い」の立ち上げに向けた相談に対応。
赤岩荘	・「笑ら輪まい会」の立ち上げに向けた相談に対応。
喜寿苑	・「前芝元気クラブ」の立ち上げに向けた相談に対応。
喜寿苑	・「下地元気クラブ」の立ち上げに向けた相談に対応。
コープ豊橋中央	・「カリオン広場」の立ち上げに向けた相談に対応。
南部	・「ほのぼのサロン」の立ち上げに向けた相談に対応。
南部	・「おいでん」の立ち上げに向けた相談に対応。
南部	・「草間町助け合いの会」の立ち上げに向けた相談に対応。
福祉村	・「なのはな会」の立ち上げに向けた相談に対応。

(6) 生活支援コーディネーター・支え合い活動者による立ち上げ支援

- ・大清水校区の相談に対応
- ・多米校区の相談に対応
- ・富士見校区の相談に対応
- ・磯辺校区の相談に対応
- ・牛川校区の相談に対応

(7) 地域包括支援センターによる活動安定化支援

【東部地区】

地域包括支援センター	内容
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・「きてみてつつじ」の集まりに月1回参加。年3回出前講座を実施。
さわらび	<ul style="list-style-type: none"> ・「金田住宅ふれあいサロン」の集まりに月1回参加。出前講座を実施。 ・「いしまきクラブ」集まりに年3回参加。年1回出前講座を実施。 ・「柿の里オレンジ」の集まりに年2回参加。年1回出前講座を実施。 ・「嵩山ふれあいサロン」の集まりに月1回参加。出前講座を実施。 ・「洗心会」の集まりに月1回参加。出前講座を実施。 ・「牛川さくら会」の集まりに年2回参加。
赤岩荘	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの広場」において月1回出前講座を実施。 ・「東町サロン」において年2回出前講座を実施。 ・「鷹丘料理教室ウェルカム」の集まりに年2回参加。 ・「牛川住宅集いの会」の集まりに年1回参加。 ・「多米西町サロン（仮称）」の集まりに年1回参加。
がアコープ 豊橋	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふたばサロン」において年4回出前講座を実施。 ・「レインボー」において年4回出前講座を実施。 ・「ハッピークラブ」において年4回出前講座を実施。 ・「岩田ストレッチ会」において年4回出前講座を実施。 ・「なかいわた絵手紙サークル」の集まりに年4回参加。年4回出前講座を実施 ・「中岩田元気会」において年1、2回出前講座を実施。 ・「のんほい」の集まりに毎月参加。
尽誠苑	<ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこ会」の集まりに年1回参加。 ・「二川クラブ」の集まりに年1回参加。 ・「谷川笑美会」の集まりに年1回参加。 ・「たんぽぽ会」の集まりに年1回参加。 ・「くるりん」の集まりに年1回参加。 ・「二川凡人会」の集まりに年1回参加。

【中部地区】

地域包括支援センター	内容
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・「みずほ会（歌）」において年1回出前講座を実施。 ・「みずほ会（体操）」において年1回出前講座を実施。 ・「茶のみの会」の集まりに年2回参加。年2回出前講座を実施。 ・「らく楽クラブ」の集まりに月1回参加。打ち合わせの実施。 ・「青空ひろば」の集まりに月1回参加。月1回出前講座を実施。打ち合わせの実施。
コープ豊橋 中央	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまぐちさんちの体操教室」の集まりに年10回参加。 ・「若竹会」において年3回出前講座を実施。 ・「向山東町わ会」において年2回出前講座を実施。 ・「ふれあいサロン吉田」において年6回出前講座を実施。 ・「しゃべらまい会」において年2回出前講座を実施。 ・「えんがわ」において年4回出前講座を実施。 ・「万年青会（オモト）」において年8回出前講座を実施。 ・「いきいきクラブ」において年1回出前講座を実施。
アースサポート 豊橋駅西	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康花田会」の集まりに月1回参加。 ・「羽根井クラブ」の集まりに月1回参加。 ・「仲良し会」において年4回出前講座を実施。 ・「いーばしょサロン花田」において月1、2回出前講座を実施。 ・「花田体操クラブ」の集まりに年1回参加。
ベルヴェール ハイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉川男女の会」において年1回出前講座を実施。 ・「とまり木カフェ」の集まりに月1回参加。 ・「笑吉クラブ」の集まりに年2回参加。 ・「おしゃべりクラブ」の集まりに年1回参加。 ・「若波会」において年1回出前講座を実施。
真寿苑	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの実家」において年1回出前講座を実施。 ・「ハマグリの会」と年6回打ち合わせを実施。 ・「キラキラ青竹会」において年6回出前講座を実施。 ・「ありのみ会」において年6回出前講座を実施。 ・「アンキカフェ」において年4回出前講座を実施。
ふくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・「てんとうむし」の集まりに2、3か月に1回参加。 ・「かねもハッピー会」の集まりに月1回参加。

地域包括支援センター	内容
喜寿苑	<ul style="list-style-type: none"> ・「お楽しみ会」と月1回打ち合わせを実施。 ・「すずや」と月1回打ち合わせを実施。 ・「やっちゃん」の集まりに月1回参加。 ・「おせっ会」において年6回健康予防、地域ネットワークづくりの働きかけ。 ・「レインボー」において年4回予防に関する働きかけを実施。※現在休止 ・「なごやかサロン」の集まりに年6回参加。 ・「横正会」において年4回介護予防大会への参加依頼や、支援を実施。

【南部地区】

地域包括支援センター	内容
南部	<ul style="list-style-type: none"> ・「大清水ささえあいの会」の集まりに年5回参加。出前講座を実施。 ・「大清水元気サロン」の集まりに年11回参加。出前講座を実施。企画の相談を実施。 ・「なでしこ会」において年2回出前講座を実施。打ち合わせの実施。 ・「うえたひだまりの会」において年2回出前講座を実施。 ・「しあわせクラブ」において年2回出前講座を実施。 ・「ひこぼえ」の集まりに年4回参加。出前講座を実施。打ち合わせの実施。 ・「木曜会」の集まりに年3回参加。 ・「彩幸クラブ」と年2回打ち合わせを行ったが、活動を再開することができなかった。 ・「もとまち集いカフェ」と年2回打ち合わせを行い、再開支援をしている。 ・「大清水校区見守りの会」の集まりに年2回参加。打ち合わせの実施。 ・「新植田住宅の会」と年3回打ち合わせを行ったが、活動を再開することができなかった。 ・「ちいきカフェたけのこ」において年6回出前講座を実施。打ち合わせの実施。
弥生王寿園	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがたや」の活動状況を年1回電話にて聞き取り。 ・「小松町みんなの居場所」の集まりに年2回参加。年2回出前講座を実施。 ・「なごみの会」の活動状況を年1回電話にて聞き取り。 ・「ふれあいサロンおむすび」の活動状況を年1回電話にて聞き取り。 ・「ひなたぼっこ」の集まりに年2回参加。年2回出前講座を実施。

地域包括支援センター	内容
福祉村	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくらの会」の集まりに月1回参加、年2、3回出前講座を実施。 ・「元気会」の集まりに月1回参加。年2、3回出前講座を実施。 ・「あしの会」の集まりに年1回参加。 ・「楽笑会」の集まりに年1回参加。 ・「しらかば会サロン」の集まりに年1回参加。
彩幸	<ul style="list-style-type: none"> ・「シクラメン」の集まりに年4回参加。 ・「よってかまいか」と月1回打ち合わせを実施。 ・「茶路 レインボー」において月1回出前講座を実施。
作楽荘	<ul style="list-style-type: none"> ・「鉄山カフェ」において月1回出前講座を実施。打ち合わせの実施。 ・「いちょう倶楽部」の集まりに年2回参加。
幸王寿園	<ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこサロン」の集まりに毎月参加。 ・「すこやかクラブ」の集まりに年6回参加。

(8) 生活支援コーディネーター及び支え合い活動者による定例会議の開催（適宜市も参加）

開催日：令和4年4月19日、5月26日、6月22日、7月20日、8月18日、9月15日、
10月20日、11月17日、12月15日、1月19日

場 所：豊橋市役所 あいトピア

内容等：支え合い活動者交流会の企画や支え合い活動の周知・立ち上げ応援等の活動方針を協議することなどを目的として開催した。

(9) お互いさまのまちづくりネットワークの運営（市）

市内の支え合い活動団体の状況を把握するとともに、団体相互のネットワーク化やお互いさまのまちづくり協議会との連携体制を構築するため、登録制度を運営した。令和4年度は、6団体が新たに追加され、合計で56団体の登録となった。登録団体向けに、市やお互いさまのまちづくり協議会からの情報提供を行った。

Ⅲ 総括

1 総合評価

令和3年度から第2期お互いさまのまちづくりアクションプランの計画期間が開始され、令和3年度から8年度までの6年間で支え合い活動団体55団体創出することを目指している。今年度は10の新たな支え合い活動団体が創出され、支え合い活動創出数の合計は令和3年度と合わせて17となった。コロナ禍の影響はあるものの、新しい生活様式に応じて各団体がそれぞれ対策を行いながら支え合い活動を行っている。

支え合い活動の立ち上げ状況をみると、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターの働きかけが契機となった事例が多かった。地域包括支援センターや生活支援コーディネーターが普段から地域の状況を把握し、担い手の中心となる人物と信頼関係を築き、適切なタイミングで後押ししたのが成果の要因となっている。

アクションプランにおける各プランにおいて、認知度向上に関しては、出前講座の開講や、オンラインを活用した各種会議への出席などを行い、お互いさまのまちづくりの意義や必要性を広めることができた。

担い手創出に関しては、社会福祉協議会開催の各種講座やセミナーの開催により活動の担い手へ学ぶ機会を提供したほか、多世代交流検討会を行い、未来の担い手である大学生などの若い世代にもまちの支え合い活動を知ってもらうことで、新たな担い手の意識向上の足がかりとなった。

活動応援に関しては、多くの地域包括支援センターが定期的に支え合い活動に参加し、ケースに応じて助言を行うことで、活動継続を下支えしている。

全体として今年度は、長引くコロナ禍にあっても、各々ができることを着実に推進することで、支え合い活動の創出・継続に繋げることができたことに加え、多世代へのアプローチを意識したことで、お互いさまのまちづくりの新たな展開に繋げることができたと認識している。

2 今後の展開

来年度は「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン」の3年目となり、目標の支え合い活動55団体創出に向け、より一層3つのプランに掲げた取組みの推進が求められる。特にお互いさまのまちづくりの認知度を向上させるため、様々な機会・世代・場所で関係団体が協力して取り組むことが重要である。コロナ禍での新しい生活様式の中で各自が工夫を凝らし、目標達成に向けた取組みを確実に継続していくことで、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ることとする。